

王5団地のみなさんへ訴えます



日本共産党 参議院議員
小池あきら



行政刷新会議

家賃「団地の「売却」うちだす

↓公団の「市場

鳩山内閣の行政刷新会議は4月26日の事業仕分けで、UR賃貸住宅事業について「高齢者・低所得者向け住宅の供給は、自治体または国に移行、市場家賃部分は民間に移行する方向で整理」していくべきと方向づけました。

巨大なムダにつけず

庶民の住いを攻撃とは

国土交通省は、今回の仕分けの結果を踏まえて、6月をめどにURの組織のあり方について結論を出すことにしています。

URの賃貸住宅事業はほとんどが入居者の家賃収入と共益費

で運営されて

います。「ムダをはぶく」というのなら

「思いやり予算」などの軍事費や政党助成金にこそメスを入れるべきではないで

しょうか。刷新会議の「民営化先に取りき」の議論は公共住宅の役割を切りすてるもので許せません。

王子5丁目団地は「市場家賃」扱いの危険も

王子5丁目団地は、北区の中では相対的に高額家賃のため、「市場家賃部分」のレッテルを貼られてしまう危険があります。「公団住宅を公共住宅として、守り抜こう」の運動を一緒に、

いっそう強めましょう。また「公共住宅の拡充こそ、住宅政策の基本」とする日本共産党を7月の参院選挙で大きく伸ばすことが、民営化の流れにストッ



医師として北病院（現在北診療所）に勤務していた頃の小池あきら（写真は95年）

日本共産党の小池あきらは2年間家賃値上げストップ

日本共産党と小池あきらは、高すぎる家賃の引き下げ、「継続家賃」の値上げ中止、住宅修繕などで奮闘し、この2年間みなさんとともに家賃値上げをストップさせてきました。

今年2月も国交省にURは民営化ではなく公共住宅として充実させること、高齢者世帯の家賃軽減や支援を要請しました。住みよい団地をつくるため、みなさんと一緒に頑張ります。